

2024年度(令和6年度)  
各地方向け  
地域放送番組編集計画

---

**NHK**

## 目次

|               |    |
|---------------|----|
| 関東甲信越地方 ..... | 1  |
| 近畿地方 .....    | 7  |
| 中部地方 .....    | 11 |
| 中国地方 .....    | 15 |
| 九州沖縄地方 .....  | 19 |
| 東北地方 .....    | 24 |
| 北海道地方 .....   | 28 |
| 四国地方 .....    | 32 |

## 関東甲信越地方向け基本方針

- 日本の主要な経済・文化圏で人口の3分の1が暮らす関東甲信越地方の各放送局は、暮らしの安全・安心を守る情報をお届けします。世界各地で激化する紛争は国内の物価高を引き起こしているだけでなく、SNS上などでの情報戦によってインターネット空間にはフェイク情報が拡散し、市民が利用する情報空間の健全性までが脅かされています。こうした時代に、放送とデジタルを駆使して生活を支え、健全な情報を提供する地域の公共メディアとしての役割を果たしていきます。
- 記録的猛暑に見舞われた2023年、関東甲信越の農業などの地域経済、人々の健康に大きな影響が出ました。深刻さを増す気候変動や大災害に関する最新の知見を伝えるとともに、被害を減らす報道に努めます。また、いつ起きてもおかしくない首都直下地震や激甚化する大雨・台風への備えも必要です。災害時は、住民の命と暮らしを守る的確な情報発信に万全を期し、各地域のFM局やケーブルテレビ、自治体などと築いた協力関係もさらに強化します。
- 少子高齢化や人口減少で地域の未来の設計図の見直しが余儀なくされる中、その将来を決める地域の選挙を丁寧に伝えます。2024年は東京都知事選挙(投票日・2024年7月7日)をはじめ、自治体の首長選挙も数多く予定されています。有権者の判断に資する情報を公平・公正に伝え、正確・迅速に報道します。また、年齢やジェンダー、国籍に関わりなく人権を尊重し、多様な価値を認め合う共生社会の実現を後押しするため、放送とデジタルを駆使し課題解決に向けた公共的役割を果たします。
- 関東甲信越の豊かな文化や芸術、歴史などの多彩な魅力を地域放送でお伝えするとともに、連続テレビ小説「虎に翼」をはじめとした全国放送番組と連携し、地域の活性化に貢献します。「パリオリンピック・パラリンピック」への出場を目指す地域のアスリートを積極的に取材するなど、地域スポーツの振興に寄与します。より視聴者に身近に感じてもらえるコンテンツを制作し、視聴者との幅広いタッチポイントづくりを戦略的に展開し、共感と納得につなげていきます。

# 各局の重点事項

## 首都圏局

### ■ 激動の時代だからこそ地域を見つめるメディアに

内外の社会情勢が大きく変化する時代だからこそ、地域密着の報道を強化して、視聴者が直面する課題や関心事に応え暮らしを守る情報を提供します。誰もが安心して子育てができる保育や教育環境の課題、住まいの確保に大きく影響する不動産の高騰の行方、さらにはなり手不足が指摘される地方議会などの現場取材し、東京都・首都圏の今後を視聴者とともに考える報道を目指します。

迫る首都直下地震に対する知識と備えをきめ細かく伝え、減災に資する情報を提供します。気候変動の影響を速やかに報道してサステナブルな社会の構築に向けた機運をより一層進めるとともに、大型化する台風や激甚化する豪雨などの災害を的確に取材し、防災情報を提供します。

価値観が多様化し対立が激しくなりがちな現代で、異なる価値観や意見を尊重し理解を深めるための情報を提供することで、共感や理解を促進する放送を目指します。

### ■ テレビとデジタルで暮らしを豊かに

首都圏局は地域の情報を提供する公共メディアとして、東京都を中心とした関東地方、さらには甲信越の情報をテレビでお伝えするとともに、ホームページやSNSでも幅広い年代が接することができるよう環境の整備により一層努めます。デジタルの双方向性を生かしながら視聴者の声に耳を傾け意見を募り、豊かな社会を作る“共に考えるメディア”を目指します。

### ■ 地域に貢献し、地域のみなさんと一緒に地域の良さを見つめなおします

東京・神奈川・千葉・埼玉という人口が多いエリアで、首都圏局が「おすまいの地域の放送局」であることを意識していただけるような放送サービス・視聴者とのタッチポイントづくりに努めます。連続テレビ小説「虎に翼」をはじめ、首都圏を舞台にしたドラマや紀行、ドキュメンタリーなどの全国放送番組とも連携して地域を盛り上げ、視聴者が多様なコンテンツに触れる機会を、放送やイベントを通して提供します。

## 横浜放送局

### ■ 地域・社会の課題に向き合い、安全・安心に役立つ情報を届けます

900万人を超える県民が暮らす神奈川県。抱える課題や環境が異なる各地域を丁寧に見つめ、課題解決や活性化につながる確かな情報をきめ細かく伝えます。豪雨などの自然災害に適切に対応し、放送とインターネットを駆使して住民一人ひとりの命と暮らしを守る情報を届けます。また、社会共通の課題を地域から深く掘り下げて誰もが暮らしやすい社会の構築に貢献します。関東大震災100年で連携したコミュニティFMやローカルメディアともさらに協力関係を深め、より効果的な情報発信を目指します。

### ■ 地域の多彩な魅力や暮らしを豊かにする情報を発信し、県民に親しまれる公共メディアを目指します

地域の多彩な魅力をきめ細かく取り上げるほか、住民の暮らしを豊かにする情報発信を強化します。地元の伝統・文化を大切に、横浜に根づいた“ジャズ”の魅力伝える公開生放送を引き続き実施します。「パリオリンピック・パラリンピック」に出場する地元出身選手や、県内のスポーツチームの情報を多

角的に取材し、スポーツの力で地域を盛り上げます。2025年3月の放送開始100年に向けて、多彩なイベントを開催するほか、放送・デジタルなどさまざまな伝達手段で視聴者により信頼され親しまれる公共メディアを目指します。

## 前橋放送局

- **群馬県の暮らしに根ざした地域に役立つ情報を発信し、明日への活力を届けます**

上毛三山に抱かれた農畜産業が盛んな地域から大企業の工場が並ぶ東部エリアまで、多彩な地域の暮らしに根ざしたニュースや話題の発信を質、量ともに高めます。平日午後6時台のニュース・情報番組では、そうしたニュースの深層を読み解くコーナーを充実させる一方、これまで以上に子育て世代・現役世代の明日の生活に役立つ情報を伝えていきます。また、“群馬の未来”を見据えた地域を担う人々の活躍や取り組みをクローズアップする番組や地域が直面する人手不足の問題など、課題克服につながるヒントを見つける番組を金曜午後7時台に編成していくことで、群馬県の地域活性化に貢献します。
- **命を守り暮らしの“安全・安心”につながる情報を地域と連携して伝えていきます**

一人ひとりの命と暮らしを守る防災・減災情報をきめ細かく報道します。浅間山などの活火山がある群馬県において、最新の防災情報を放送やデジタルで発信するとともに、万が一に備えた緊急報道体制を確立します。また、日頃の放送から暮らしの“安全・安心”につながる特集や企画を発信していきます。一方、コミュニティFMやケーブルテレビ、地域の防災士などとの連携を強化し、災害が起きた際には速やかにライフライン情報などが届けられる態勢を整え、情報を発信するなど、公共メディアとしての価値と信頼を高め、地域を守る取り組みに貢献します。

## 水戸放送局

- **地域の課題に向き合いながら、“多彩な魅力”を発信します**

茨城県は、地震多発地域であり、気象災害による河川氾濫や、2023年には記録的な豪雨による災害にも見舞われるなど、暮らしの安全・安心への備えは欠かせません。また、東海第二原子力発電所の再稼働問題など、エネルギー政策についてさまざまな課題に直面しています。一方で、全国に誇れる農水産物や納豆などの特産品があるほか、最先端の科学技術やスポーツなど多方面で活躍する人々がおり、多彩な魅力にあふれています。こうした地域の課題や魅力を平日午後6時台のニュース・情報番組、金曜午前11時台および午後7時台の番組など地域放送できめ細かく伝え、全国や世界にも情報発信します。
- **“地デジ放送開始20年”県民にさらに親しまれる公共メディアを目指します**

2024年10月1日、水戸放送局が県域地上デジタル放送を始めてから20年の節目にあたります。茨城県で唯一の県域テレビ局として培ってきたネットワークやノウハウを改めて利活用しながら、地域の豊かな風土・文化・暮らし・政治経済・地域スポーツなどを通じて茨城を元気にするコンテンツ発信に取り組みます。また、連続テレビ小説やドラマなどのコンテンツ、SNSやイベントも活用して視聴者との結びつきを強め、県民とともにある“公共メディアの存在感”を実感してもらえるよう取り組みます。

## 千葉放送局

- **千葉県の課題と向き合い、暮らしと安全に役立つ情報を放送・デジタル連動できめ細かく伝えます**  
人口が急増する県北部と過疎化が進む県南部など、地域によって大きく異なる課題について、視聴者とともに考え、解決へのヒントを探ります。巨大地震や台風などの自然災害に対応するため、全局体制でBCPを強化し、放送とデジタルを連動させて、迅速かつきめ細かく防災・減災情報を届けます。自治体や地域メディアとの関係をより一層強化し、県民の命と暮らしを守るためのライフライン情報を提供します。
- **未来を担う若者とともに“カルチャー”を発信、また、共生社会に貢献する地域放送局を目指します**  
県内で育まれるさまざまな文化・芸術分野を取り上げ、未来を担う若者とともに良質な娯楽を発信することで地域の活性化や文化振興に寄与するほか、県内で盛んなアーバンスポーツを積極的に紹介し、「パリオリンピック・パラリンピック」をさらに盛り上げます。日本の玄関口として在留外国人を含む幅広い世代の意向を丁寧に把握して、多様性・多文化共生社会に貢献できるコンテンツ制作と視聴者サービスの充実を図ります。

## 宇都宮放送局

- **公平・公正、正確な選挙報道と防災・減災報道に全力で取り組みます**  
2024年は栃木県知事選挙(任期満了日・2024年12月8日)や宇都宮市長選挙(任期満了日・2024年11月27日)が行われます。地方が抱える課題や選挙の争点をわかりやすく伝え、有権者の判断のよりどころとなる報道を行います。2019年10月に県内で大きな被害が出た台風19号から5年。激甚化する自然災害に対して、県内に暮らす一人ひとりにきめ細かい防災・減災情報を伝えるため、関連のニュースや気象予報士による解説など必要な情報を伝えるとともに、テレビやデータ放送、SNSなどあらゆるメディアを駆使し、県民の命と暮らしを守ります。
- **栃木県の文化や自然 地元のスポーツやミュージシャンなどの魅力を発信します**  
世界遺産登録から25年となる「日光の社寺」をはじめとする歴史文化や豊かな自然に恵まれた栃木県の魅力を発信します。平日午後6時台のニュース・情報番組では、視聴者の目線に立った情報を届けます。金曜午後7時台の地域放送番組では、地域のニーズに応じた硬軟さまざまなテーマを取り上げます。毎月最終金曜日午前11時台のFMラジオ番組では、栃木が誇る地元のミュージシャンの演奏なども伝えていきます。また、地元のプロスポーツの中継や連動した公開イベントを通じて地域を元気にします。

## さいたま放送局

- **埼玉県の魅力や課題 “命と暮らしを守る”情報を、放送×デジタルで発信します**  
地域にこだわり、放送とデジタルを活用して、埼玉県の今を伝えます。全国で3番目に多い63の市町村を抱える埼玉県では、ベッドタウンとして県南部を中心に人口増加が続いています。都市の発達に加え、近郊農業も盛んで、秩父地方をはじめ、豊かな自然に恵まれた多彩な県土を持つ埼玉の魅力を発信していきます。子育てや医療福祉の問題、都市型水害への備え、在留外国人との共生、増加する自転車事故など、地域が今直面している課題について当事者の声に耳を傾け、暮らしへの影響や、解決に向けた

糸口を掘り下げて取材し、“命と暮らしを守る”報道に全力で取り組みます。

#### ■ 開局80年 地域のみなさんとの結びつきを深めます

さいたま放送局を、より身近に感じてもらうため、放送やイベント、デジタルを通じて、幅広い年齢層、立場の人たちとのタッチポイントを創造します。オンエア・オフエアを問わず、多様性への配慮を心掛け県民に寄り添います。開局80年の節目では1年を通じて、さまざまなコンテンツやサービスに触れてもらい、納得と共感を高めていきます。川口市にあるNHKアーカイブスと連携し、保管する資産を活用して地域の歴史、文化を届けます。さらに、各地に根ざしたスポーツを生かしたコンテンツ制作を進めるとともに、地元のケーブルテレビや他メディアと協力し、視聴者と地域を結ぶ公共メディアの役割を果たします。

## 長野放送局

#### ■ 災害の教訓を県民と共有し、命と暮らしを守る防災・減災報道を強化します

長野県西部地震から40年、戦後最悪の火山災害となった御嶽山の噴火、神城断層地震から10年、そして千曲川の堤防が決壊した台風19号の豪雨災害から5年となる2024年は、改めて災害の教訓を県民と共有し、防災・減災に向けた情報発信に力を入れます。また、増加している山岳遭難への注意喚起を行うなど、平日の午後6時台、金曜午後7時台、土曜午前7時台などの地域放送番組、さらにラジオやデジタルも最大限活用し、県民の命と暮らしを守る公共メディアの役割を果たします。

#### ■ 食文化やスポーツなど地域の魅力を発信し、公共メディアとしての存在感を高めます

長野県の豊かな食文化を再発見し、守り育てるプロジェクトなどを通じて地域の魅力を全国に発信するとともに、「パリオリンピック・パラリンピック」に挑む長野県ゆかりの選手や、地元スポーツチームの活躍を継続的に取り上げ、地域スポーツの振興に寄与します。さらに、人口減少に伴う“担い手不足”が今後深刻化する長野県の課題に向き合うとともに、地域を元気にする情報の発信に努めます。いずれも、視聴者とのタッチポイントを広げる取り組みを放送・デジタル発信・イベントなどを通して戦略的に組み合わせながら展開し、公共メディアとしての存在感を高めます。

## 新潟放送局

#### ■ 地域の課題と向き合い、ともに考え、前に進むための道筋を探り、役立つ情報を発信します

毎年2万人以上減り続ける新潟県の人口、2023年は記録的猛暑にも見舞われ厳しさを増す米づくり、物価高騰で深刻な影響を受けている地域経済、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を巡る動き、解決の糸口が見いだせない拉致問題、存続に向け課題を抱える地域医療。新潟県が直面するこうした課題に向き合い、ともに考え、県民が前に進むための道筋を探り、役立つ情報の発信に努めます。地域で活動する人々に寄り添い、困難に立ち向かう取り組みを積極的に取り上げ、応援していきます。大雨や大雪、地震の被害を少しでも抑えるため、災害時はもちろん、発生から20年となる新潟県中越地震の教訓を生かし平時から防災・減災につながる情報発信に力を入れます。また増加する特殊詐欺やクマなど野生動物による被害などへの警戒を強め、安全・安心につながる報道に努めます。放送と連動したデジタルの発信に力を入れ、視聴者が確かな情報を必要な時に得られるよう取り組みます。

■ **新潟県が誇る地域の魅力、スポーツや話題を発信して、地域を元気づけ、活性化に貢献します**

世界遺産への登録を目指す「佐渡島の金山」、佐渡に生息する特別天然記念物「トキ」、全国有数の花火大会「長岡花火」、特産の米や日本酒など地域の人々が誇りに思う“新潟ブランド”を全国に向けて積極的に発信します。「パリオリンピック・パラリンピック」に出場する県内の選手やサッカーJリーグの「アルビレックス新潟」、プロ野球2軍の公式戦に参加する「オイシックス新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」などのスポーツを、放送を通じて盛り上げ、県民を元気づけます。新潟県の豊かな食文化や美しい自然、ものづくりや伝統芸能を多角的に取材し、その魅力や奥深い世界を最新の映像技術を駆使して紹介することで、観光の振興や産業の発展、自然保護や文化の継承など地域の活性化に貢献します。

## 甲府放送局

■ **山梨の未来に向けた課題に向き合い、地域の安全・安心に寄与します**

山梨県では、推計人口が80万を割り込むなど急速に人口減少が進み、働き手不足や地方自治体の財政悪化など地域が抱える課題は山積しています。未来に向けた持続可能な社会のあり方について伝えていきます。南海トラフ巨大地震をはじめとした大地震への備え、富士山噴火や河川の氾濫などによる水害への対応など、被害を減らす情報発信を地元メディアや地方自治体とも連携して推進し、安心して暮らせる地域の実現に尽力します。

■ **地元スポーツの発信を強化し、地域が元気になるコンテンツを届けます**

「パリオリンピック・パラリンピック」に出場する地元アスリートの動きを丁寧に伝えるとともに、東京オリンピック・パラリンピックでホストタウンとなった県内の自治体や住民の“レガシー”についても伝え、開催に向けた機運を盛り上げます。地元プロサッカーチームや県内出身力士など地元のスポーツの動きをNHKプラス等のデジタル発信も生かしながら、きめ細かく伝え、山梨が元気になるコンテンツの発信に努めます。



## 近畿地方向け基本方針

- 近畿地方の6つの放送局は、地域社会の維持・発展に貢献することを使命とします。
- 頻発・激甚化する自然災害や事件・事故に対し、確かな取材力と高い専門性に基づいた正確な情報を、放送とインターネットで迅速に伝え、“人々の命と暮らしを守る”報道に尽力します。2025年は、阪神・淡路大震災から30年という節目の年であり、改めて震災を風化させない取り組みに力を入れるとともに、南海トラフ巨大地震など今後の災害に備え、防災・減災に資する最新の情報を発信します。また災害時には、命を守るため、近畿の各放送局のネットワークを生かして正確できめ細かな情報を発信します。
- 地域課題とその解決につながる情報を積極的に発信し、安全で豊かな社会の実現に貢献します。また、多角的な視点を紹介することで、フェイクニュースやフィルターバブル等の弊害を減じ、民主主義の発展に寄与します。
- 地域活性化に貢献するために、2025年の「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」をはじめとして、近畿各地が誇る歴史・伝統文化・芸術・観光資源などの多彩な魅力を、近畿だけでなく、全国・世界に発信します。また、プロスポーツをはじめ、活動が盛んなアマチュアスポーツなど、近畿地方のスポーツを盛り上げます。
- 教養や福祉、娯楽など多様なジャンルで、心の豊かさ、明日への活力につながるような質の高いコンテンツを充実させるとともに、地域の生活や文化の向上に資する情報を発信します。

# 各局の重点事項

## 大阪放送局

### ■ ニュース番組を強化し、信頼できる基本的な地域情報を提供します

社会に不確かな情報があふれる中で、地域の人々に役立つ基本的な情報を正確・迅速そして深く伝えられるようニュース番組を強化します。特に、平日午後6時台の地域向けニュース番組を基幹番組として位置づけ、事件・事故から行政や経済の動き、教育や福祉の問題、生活・暮らしに関わる情報、スポーツ、地域の魅力まで、幅広いテーマを硬軟織り交ぜた演出でわかりやすく伝え、“近畿地方の今がわかる番組”を目指します。

### ■ 情報番組や紀行番組などを充実させて、地域の課題解決や活性化に貢献します

金曜夜間の地域向け情報番組の内容を充実させて、近畿の課題やその解決に資する情報を発信するとともに、それらについての多角的な視点を紹介し、多くの人々の意見を踏まえた課題解決へつなげられるよう尽力します。また、木曜夜間の紀行番組や週末の情報番組で近畿各地の魅力を積極的に発信し、地域活性化に貢献します。

### ■ 特集番組やアーカイブスを活用し、多様なニーズに応えるコンテンツを提供します

幅広い年齢層の多様なニーズに応えるため、バラエティーに富んだコンテンツを随時放送します。プロ野球などのスポーツ中継や漫才・コント、歌番組などの特集番組に加えて、甲子園100年、「パリオリンピック・パラリンピック」、「大阪・関西万博」などのビッグイベントを盛り上げる企画に積極的に取り組み、多くの人たちに満足いただけるよう尽力します。さらに、近畿地方の豊かな自然や文化、その地に暮らす人々などを取り上げた豊富なアーカイブスも活用し、NHKの映像資産を社会に還元します。

## 京都放送局

### ■ “文化首都”を目指す京都の伝統文化や美しい景観を全国・世界に発信します

“文化首都”を目指す京都は、大河ドラマ「光る君へ」の舞台としても注目を集めています。千年の都が育んできた伝統行事や国宝などの文化財、自然と歴史が調和した美しい景観を超高精細映像で記録すると同時に、変貌する京都の動きを京都府内だけでなく、国内外にも発信します。京都放送局の8Kプラザを活用し、地域の人たちが多様な京都の魅力を体験できる関連イベントを開催し、地域サービスの充実に努めます。

### ■ 府内各地域の魅力と課題に目を向け、地域の人たちとの結びつきを強めます

平日午後6時台のニュース・情報番組で、これまで以上に京都府民の生活に密着した話題を掘り下げるとともに、府内の市町村を巡回するキャラバンを実施し、その地域の情報や魅力を積極的に発信します。また、視聴者からの素朴な疑問に答える「こえきく！！プロジェクト」を継続し、地域の課題とその解決につながる情報を発信します。オーバーツーリズムによる観光公害、行政に関する疑問、子育てや教育に関する困りごとなどを定期的に紹介し、それを出発点に、番組・イベント・キャンペーンなどを実施し、解決の糸口を探っていきます。

## 神戸放送局

- **阪神・淡路大震災を伝え続け、兵庫県の安全・安心につながる多様な発信をします**  
2025年1月で発災から30年となる阪神・淡路大震災の記憶、教訓を、新しい視点や手段を駆使して伝え続けます。放送だけでなく、SNS等のデジタル発信やARを使ったコンテンツの制作、それらを活用したイベント等の取り組みなどを含むあらゆる手段で、災害に関する最新の情報や30年で蓄積してきた知見を視聴者に届けます。南海トラフ巨大地震や激甚化する気象災害をはじめとするさまざまな災害に対して、兵庫県の人たちの生命・財産の安全・安心につながる発信を続けます。
- **“五国”の多様性を尊重し、情報発信の拠点としての存在意義を高めます**  
摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる兵庫県の多様性を尊重し、各地域の政治・経済・社会の課題を丹念に洗い出して深く取材し、課題解決につながるような情報発信を目指します。あわせて、県内向けの定時放送枠を持つ放送局として、地域で活動するさまざまな機関・団体と協力しながら、文化や地域の振興に資する多様な発信を行います。そして次世代に伝えたい知見や映像の蓄積を続けることで、情報発信と知的財産の承継を担う地域の放送局としての存在意義を高めていきます。

## 和歌山放送局

- **南海トラフ巨大地震、災害に備えます**  
南海トラフ巨大地震をはじめとした災害から命と暮らしを守り、犠牲者ゼロを目指す“守るプロジェクト”を全局体制で展開します。平日午後6時台のニュース・情報番組で、防災・減災に関するニュースや情報を積極的に伝えるほか、FMラジオでも、県内のコミュニティーFM局と連携して防災番組を制作・放送します。また、台風などの気象災害が激しさを増す中、2011年の紀伊半島豪雨の記憶を次の世代に伝えるとともに、災害の教訓をどう生かすか検証し、大雨・洪水や土砂災害への警戒を呼びかける取り組みを続けます。
- **和歌山県内各地域の魅力と課題を掘り下げて伝え、県内外に広く発信します**  
過疎・高齢化など和歌山県が抱える課題について、平日午後6時台のニュース・情報番組で掘り下げて伝え、課題解決に向けた取り組みやアイデアを紹介します。また、番組では、県内の特定の市町村を集中的に取り上げるなど、さまざまな方法で地域の魅力や地域で活躍する人々を紹介します。制作したコンテンツはNHKプラスのほか、ホームページやSNSも使って県内外に広く発信します。

## 奈良放送局

- **歴史・文化などの魅力を多様なコンテンツで発信し、奈良放送局の存在感を高めます**  
世界遺産や国宝などの文化財、伝統行事、美しい風景など奈良が誇る魅力を、引き続き超高精細映像で記録するとともに、最先端のVR技術を駆使し、デジタル・イベントとも連動しながら、教育現場での活用をはじめ、文化財などを立体的に体感できる迫力の映像を提供します。放送開始100年を迎えるにあたり、2025年の「大阪・関西万博」も見据え、奈良放送局が保存する貴重な映像を発掘・活用し、NHKのアーカイブスの価値を地域のみなさんと共有します。

- **放送とデジタルの両輪で、課題に向き合い、安全・安心を支える地域の情報基盤の役割を果たします**  
平日午後6時台のニュース番組は、地域情報の発信と参照のよりどころとなるよう、話題の人を取り上げたインタビューコーナーを始めるなど、さらに内容の充実を図ります。県内39市町村の魅力や課題を掘り起こして丁寧に伝え、特定の地域を集中的に特集する取り組みを継続します。頻発化・激甚化する自然災害から命と暮らしを守るため、2011年の紀伊半島豪雨の教訓を引き続き伝え、災害のおそれがある場合は、放送とインターネットの連携により、迅速にきめ細かい情報の発信に努めます。

## 大津放送局

- **地域の情報を多角的に発信し、県民の安全と安心に貢献し、NHKの存在意義を高めます**  
平日午後6時台のニュース・情報番組では、地域の課題を掘り下げるとともに、びわ湖の環境保全や、地場産業の活性化など地域社会に貢献する情報を広く発信していきます。また、県民の生命と財産を守るために、台風や南海トラフ巨大地震、びわ湖西岸断層帯を震源とする地震などに備え、防災や減災に関するさまざまな情報を発信し、県民の防災意識の向上に資する取り組みを継続していきます。
- **子どもから大人まで幅広い世代に魅力あるコンテンツを提供します**  
滋賀県は人口に占める子どもの割合が全国2位となっていて、子どもを中心に取り上げるさまざまな番組を展開します。また、大河ドラマ「光る君へ」にあわせた県内の動きを捉えて発信するのをはじめ、地元につながる歴史や文化、びわ湖を中心とした自然を細かく取材し、滋賀の魅力を全国に伝えていきます。さらに、バスケットボールBリーグで1部復帰を目指す「滋賀レイクス」といった地域スポーツをはじめ、多種多様な分野で活躍を見せる人々を取り上げ、地域活性化に貢献していきます。

## 中部地方向け基本方針

- 中部地方は、歴史や文化、風土が大きく異なる東海と北陸地方で構成されています。各放送局は、それぞれの地域の視聴者ニーズに応じた放送やサービスを発信し、地域課題と真摯(しんし)に向き合うことで、地域に寄り添った放送局を目指します。さらに、7つの放送局がもつネットワークを存分に生かし、地域の情報を広く発信していきます。また、人々の多様な価値観や互いの個性を尊重する共生社会の実現に寄与します。
- 台風や大雨、記録的な猛暑・大雪といった自然災害に頻繁に見舞われてきた中部地方。2024年1月1日に発生した能登半島地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。被災地の復興に向けた動きや防災・減災につながる情報発信に取り組み、災害発生時にはテレビ、ラジオ、ホームページやSNSなどそれぞれの媒体の特性を生かし、正確・迅速に必要な情報を伝えます。選挙報道においては、地域の有権者の判断のよりどころとなる公平・公正な情報提供に努めます。また、緊迫する国際情勢、物価高などが地域に与える影響についても多角的に取り上げ、公共メディアとして地域に根ざした情報発信を進め、命と暮らしを守る役割を果たします。
- 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、国内外からの観光客が増加するなど、社会経済活動が活発化しています。地域経済の最新の動きを伝えるとともに、地域の魅力を掘り下げ、広く発信していきます。また、各地の雄大な自然を取り上げる番組や、地域を元気にする番組など多彩なジャンルのコンテンツを提供することで、地域の活性化に貢献します。
- 「パリオリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される中部地方ゆかりのアスリートを積極的に取り上げ、視聴者の関心に応えます。また、プロ・アマチュア問わずさまざまなスポーツチームが存在する中部地方においては、試合中継や各放送局のニュース・情報番組を通じて地元チームの活躍を地域ならではの視点で伝え、地域を盛り上げます。

# 各局の重点事項

## 名古屋放送局

### ■ 地域に根ざした情報発信に取り組み、地域の人々の命と暮らしを守ります

過去に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風に匹敵する巨大台風や記録的な大雨、南海トラフ巨大地震などの自然災害に備え、日頃から防災・減災につながる情報発信に全力で取り組みます。災害発生時には、ライフラインをはじめとした命と暮らしを守るために必要な情報を、テレビ、ラジオ、ホームページやSNSなどそれぞれのメディアの特性を生かして正確・迅速に届けます。平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の地域放送番組では、地域経済の動きや生活に身近な情報など人々の暮らしに密接に関わるテーマに注力するとともに、地域課題の解決につながるヒントを探ります。コンテンツ制作にあたっては、お互いの多様性を認め、人格や個性を尊重し合う社会の実現につながる番組作りや演出に努めます。

### ■ 地域に徹底的に向き合い、地域の人々が元気になるコンテンツを提供します

平日午後6時台のニュース・情報番組と平日午前11時台の情報番組が連携して、月に1回程度、県内各地の自治体を重点的に取り上げ、人や食、歴史や文化など各地域の魅力を再発見します。地域に徹底的に向き合い、地域の活性化につながる新たなコンテンツにも取り組みます。また、プロ野球「中日ドラゴンズ」やサッカーJリーグ「名古屋グランパス」など地元のプロスポーツチームの試合を中継するほか、「パリオリンピック・パラリンピック」に向けては、新種目も含め、地域ゆかりのアスリートを幅広く取り上げ、地域を盛り上げます。2025年の放送100年に向け、名古屋放送局が保有する映像・音声資産を活用し、放送・デジタル・イベントなどさまざまな手段を用いた展開への準備を進めます。

## 金沢放送局

### ■ 地域の人々の命と暮らしを守る情報を発信することで能登半島地震からの復興を後押しし、地域みなさんに信頼される放送局を目指します

2024年1月1日に発生した能登半島地震は、死者が200人を超えるなど甚大な被害をもたらしました。いまだ厳しい生活環境が続く中、復興に向けた動きなど、被災地に寄り添う情報発信を続けます。さらに防災・減災の報道にも全力で取り組み、災害に強い石川県の実現に貢献します。

テレビ、ラジオ、インターネットそれぞれのメディアの特性を生かし多角的に展開し、地域の人々に役立ち、信頼される放送局を目指します。

### ■ 地域放送番組を刷新し、石川県と北陸の活性化と発展に寄与します

平日午後6時台のニュース・情報番組を中心に、視聴者の生活に身近な情報、知りたい情報、地域の課題を伝えるとともに、「パリオリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される地元選手、大相撲の郷土出身力士、野球、サッカーなど地元のスポーツの情報も積極的に取り上げていきます。

延伸開業により新幹線で結ばれた北陸3県。その視聴者をターゲットにした金曜午後7時台の番組を2024年度は北陸向けのフラッグシップ番組に位置づけ、番組内容の充実とさらなる定着を図ります。地域で働き、地域で生活する現役世代に向け、「NHKがあってよかった」と思ってもらえる番組を福井放送局・富山放送局と連携しながら制作します。番組を通じて、直面する共通の課題や北陸の“いま”に丁寧に向き合い、北陸の活性化と発展に寄与します。

## 静岡放送局

- **安全・安心な社会のための情報基盤として、県民の命と暮らしを守る報道に全力で取り組みます**  
大きな被害が相次ぐ台風、大雨や土砂災害、竜巻など激甚化する災害時の正確・迅速な情報発信に加え、南海トラフ巨大地震と大津波、富士山の噴火など大規模災害に備えた防災・減災の知識や意識を高める情報や熱海土石流などこれまでの災害から見えてきた課題などを各メディアで丁寧に発信します。全国ネットワークと、デジタルなど新しい知見を生かした緊急報道や訓練などを通じて、地域のみなさまになくてはならない命綱としての役割を強化します。
- **地域の暮らしを見つめ、課題に向き合い、解決に貢献する発信を続け、地域の信頼を高めます**  
平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の地域放送番組などを通じて、変動する国際情勢や経済、社会状況によって地域の暮らしに生じる影響や課題に向き合い、多角的な視点から解決に資する情報を放送とデジタルを連動して発信します。インバウンドを含め多くの観光客が訪れる富士山など豊かな自然や地域で育まれた文化など地域の多彩な魅力を伝えるとともに、「パリオリンピック・パラリンピック」も視野にサッカーをはじめ地域で盛んなスポーツを中継も含めて発信します。地域の活性化や信頼につながる情報を提供し、視聴者のみなさまの公共的な価値実現を図ります。

## 福井放送局

- **県民の命を守り地域に役立つ情報を適時・的確に発信し、信頼される放送局を目指します**  
大地震や集中豪雨、大雪など近年増加している自然災害の情報を、きめ細かく正確に発信し、情報空間の参照点であり続けます。平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の地域放送番組を中心に、北陸地方3局が連携して共通する課題に向き合います。
- **地域の魅力の発信と課題の掘り下げにより県民の「見たい・知りたい」に応えます**  
北陸新幹線の県内開業や地元スポーツチームの活躍、大河ドラマ「光る君へ」を機に地域の魅力と盛り上げを発信して福井県を応援します。また全国最多の原子力発電所が抱える課題や新幹線開業による地元の変化を掘り下げ、NHKならではの情報を届けます。

## 富山放送局

- **能登半島地震の被災地に寄り添う情報発信を続け、地域に信頼される放送局を目指します**  
能登半島地震では富山県内でも大きな被害が発生したため、生活再建に向けた動きや観光業への影響など、被災地に寄り添う情報発信を行います。地震に加え水害、大雪などの災害時にも放送機能を維持し、命と暮らしを守るための情報を発信し続けます。富山県知事選挙(任期満了日・2024年11月8日)についての情報を正確・迅速に県民に伝えるほか、テレビやラジオの公開番組を放送し、視聴者のみなさまとのつながりを深めます。また、放送とともに、ホームページやSNSなどとも連携させ、デジタル発信も一層強化し、幅広い世代に富山の情報を届けます。

- **県民の期待に応え、地域の文化・生活の向上につながる情報を伝えます**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、視聴者の目線に立ち、人口減少や気候変動、地域経済など“今、県民が知りたいこと”を、わかりやすい形で伝えます。金曜午後7時台の地域放送番組では、新たな観光の起爆剤として期待される「黒部宇奈月キャニオンルート」開通の話題のほか、伝統文化・歴史・自然など、富山や北陸地方の魅力をさまざまな角度から伝える番組や、地域の人々が直面する課題を深く掘り下げる番組を届けます。また、サッカーJリーグ「カタレ富山」をはじめとする地域のスポーツを、中継やニュース・情報番組で伝え、富山のスポーツを盛り上げます。

## 津放送局

- **地域の課題に向き合い、視聴者に信頼される公共メディアを目指します**

地域に暮らす人々に寄り添い、生活者の視点で地域の課題を解決する方法を探り、視聴者にとって必要な情報や暮らしに役立つ情報を平日午前11時台の情報番組や午後6時台のニュース・情報番組、ホームページやSNSなどを通して届けます。南海トラフ巨大地震や甚大化する大雨災害への備えなど、正確で信頼される防災・減災情報をニュースやL字型画面、インターネットなどで迅速に提供し、地域の安全・安心に貢献します。

- **より身近な存在として三重県の魅力を発信し、地域の活性化に寄与します**

文化や歴史、自然など、県内の魅力を掘り下げて地域を元気にする番組やコンテンツを広く発信していきます。世界遺産登録20年となる熊野古道や「パリオリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される三重県ゆかりのアスリート、地域の明るい話題や多彩な分野で活躍する人々などを積極的に取り上げ、放送を通して三重県がさらに元気になることを目指します。

## 岐阜放送局

- **地域に親しまれ、必要とされる放送局を目指します**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、政治や経済、地域の話題や暮らしに役立つ情報を丁寧に取材し、視聴者が必要とする情報を正確にわかりやすく伝えます。取材者みずからが出演して解説を行うなど、作り手の“顔が見える”放送を心がけ、視聴者とともに作り上げる企画にも取り組み、身近で親しまれる放送局を目指します。公募で決定した番組の公式キャラクターを放送やSNSで活用し、幅広い世代により親しんでもらえるよう努めます。

- **岐阜県の文化を掘り下げ、地域の人々をつなげる情報を発信します**

2024年は岐阜県で「第39回国民文化祭」、「第24回全国障害者芸術・文化祭」が開催されます。積極的に岐阜県に根づいた文化を取り上げ、地域の魅力の発信、再発見に貢献します。また約6万3千人の外国人が暮らす岐阜県。さまざまなルーツを持つ外国人に焦点を当てた情報を発信し、互いの文化や価値観を理解するきっかけとなる放送に取り組みます。



## 中国地方向け基本方針

- 激甚化・広域化する自然災害に対し、地域の安全・安心の拠点として、人々の命と暮らしを守る情報を正確・迅速に提供します。2024年1月1日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらしました。災害報道に万全を期すことはもちろん、日頃から防災・減災に役立つ情報発信に努めます。災害発生時にはテレビ・ラジオ・インターネットそれぞれの特性を生かし、情報を必要とする人に的確に届け、地域の公共メディアとしての使命を果たします。
- 地域社会と真摯(しんし)に向き合い、地域の活性化に貢献します。少子高齢化や人口流出など、課題先進地域である中国地方。地域が抱えるさまざまな課題に対し、多角的な視点から解決策を探ります。また、中国地方の豊かな自然や特色ある歴史・伝統文化・観光資源などの多彩な魅力を伝え、NHKプラスでも全国に発信します。
- 被爆の実相や核兵器廃絶を求めるヒロシマの声を全国・世界に発信します。2023年5月に「G7広島サミット(主要7か国の首脳会議)」が開催され、世界で被爆地・広島への関心がこれまでになく高まっています。世界で戦争が繰り返される不安定な国際情勢のいまだからこそ、核兵器の恐ろしさや平和の尊さを幅広い世代に届けます。また、全国の被爆者の平均年齢が85歳を超え、被爆証言を直接聞く機会が少なくなる中、さまざまな手法を活用して被爆体験の記録と次世代への継承に取り組みます。
- プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグなどの地元に基づいたスポーツの最新情報を中継やニュースを中心に、ホームページ・SNSも駆使しながらきめ細かく伝え、地域を盛り上げます。オリンピックイヤーとなる2024年は、「パリオリンピック・パラリンピック」を目指す中国地方ゆかりのアスリートを取り上げ、その活躍を伝えます。

## 各局の重点事項

### 広島放送局

- **核兵器廃絶と平和への願いを広島から全国・世界に発信します**

被爆地にある放送局として被爆者の思いに寄り添いながら、核兵器を巡る国内外の動きや平和への願いを伝えます。被爆者の高齢化が進む中、被爆証言の記録やNHKに残るアーカイブスの活用を通して、被爆体験の風化を防ぐ役割を果たします。また、“被爆80年”(2025年)の節目の年に向けて、核兵器廃絶と平和を希求するヒロシマからのメッセージを強く発信します。引き続き若い世代に対しても音楽番組やホームページ・SNSなど、さまざまな手法を駆使して、平和について改めて考える機会を提供し、平和の尊さを次の世代につないでいきます。
- **地域の安全・安心の拠点として、災害・減災報道に全力で取り組みます**

甚大な被害をもたらした広島市土砂災害から10年。平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の番組では、当時の災害状況を改めて検証し、同じ被害を繰り返さないための方策を探ること、今後起こりうる自然災害に備えるための防災・減災報道に取り組みます。また、災害発生時には、公共メディアとして放送を中心にデジタルサービスも駆使して正確・迅速に情報を伝えます。
- **平和だからこそスポーツができる喜びをかみしめ、その魅力を発信します**

プロ野球「広島東洋カープ」や新スタジアムに拠点を移したサッカーリーグ「サンフレッチェ広島」、バスケットボールBリーグ「広島ドラゴンフライズ」など、地域に根ざしたチームの活躍をスポーツ中継やニュース・情報番組を通して伝えます。平日午後6時台のニュース・情報番組では、県内の最新のニュースや暮らしに身近な情報をわかりやすく伝えます。地域の諸課題を掘り起こし、県内各地に足を運び地域に密着した話題を届けます。また、放送に加え番組内容をホームページ上で展開するWEB記事やSNSでの発信をさらに充実させます。金曜午後7時台の番組では、さまざまなジャンルを取り上げ、地域に寄り添い、地域社会の未来をともに考えます。

### 岡山放送局

- **地域の安全・安心を守る情報発信に貢献します**

豪雨や台風、地震などあらゆる災害に備えて、ふだんから放送やデジタルで防災・減災についてのコンテンツを制作し、防災・減災意識のさらなる向上につなげます。西日本豪雨災害の教訓、課題などを継続的に発信し、災害の記憶の風化を防ぎます。災害が発生するおそれがある際には、放送やホームページ、SNS、L字型画面などあらゆる手段を活用して、正確・迅速に情報を提供し、安全・安心の確保に貢献します。
- **地域に寄り添い、よりわかりやすく、確かな情報を発信します**

民放各社が岡山・香川両県をひとつのエリアとして放送している中、岡山県の情報を中心に伝えている放送局として、県内の政治・経済・社会・文化・教育・スポーツなど、地域に暮らす人々に寄り添っ

た情報発信を充実させます。岡山県知事選挙(任期満了日・2024年11月11日)をはじめとする選挙報道では、公平・公正かつ正確・迅速に有権者の判断に資する情報を提供します。さらにバーチャルスタジオの導入にあわせて、ニュースや番組で新たな演出を取り入れ、よりわかりやすく、あらゆる世代にとって身近で信頼される地域放送を実現していきます。

## 松江放送局

- **防災・減災を掲げて地域の暮らしと安全を守ります**

全国で唯一、県庁所在地に立地する島根原子力発電所。2号機の再稼働が迫る中で、原子力災害などの有事に備えて取材や避難行動を確認する対応訓練を実施するなど、いかなる状況下でも地域の暮らしと安全を守るための正確な情報発信ができる体制構築に努めます。地元ケーブルテレビとの災害連携や住民参加型の防災教室などを通して“災害に強い放送局”として地域に貢献していきます。
- **公共メディアとして地域経済の行方と山陰の魅力を多角的に発信します**

島根県内唯一の百貨店閉店という衝撃の事実を背景に地域経済の行方を多角的に取材するとともに、人口減少や人材不足など島根県が抱える課題について、専門家の提言なども盛り込みながら丁寧に伝えていきます。同時にデジタル発信にも取り組み、ホームページにおいてニュース特集やスポーツなど魅力あるコンテンツを展開し、NHKプラス配信やSNSもあわせて幅広い世代へのタッチポイントを広げていきます。

## 鳥取放送局

- **安全・安心な暮らし、地域課題の解決に貢献し“最も頼れる”地域公共メディアになります**

激甚化する自然災害から県民の命と暮らしを守るため、平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午後7時台の番組で、防災・減災情報を積極的に発信していきます。発災時には災害連携協定を結ぶケーブルテレビ各社と協働し、放送やインターネット、データ放送などあらゆる手段を通して的確・迅速な情報発信を行い、地域の安全・安心を守る拠点としての役割を果たします。さらに人口減少、“買い物難民”など地域課題の核心に迫り、多角的な検証を行うとともに解決の糸口を提示します。
- **地域情報の質・量をより充実させて“地元のNHK”への期待に応えます**

民放各社が鳥取県・島根県にまたがって放送する中、NHKの県域放送の強みを生かし、ニュース・情報番組では鳥取県トピックス100%を追求し、地元視聴者のニーズに応えます。「パリオリンピック・パラリンピック」の県出身選手やサッカーJリーグ「ガイナレ鳥取」、大相撲・伯耆嶋などの活躍を積極的に発信・応援し、スポーツの力で地域を元気にします。2025年3月開館の鳥取県立美術館と連動して地域活性化の取り組みを発信するほか、鳥取の豊かな自然や文化・歴史・伝統など多彩な魅力を伝えます。

## 山口放送局

- **地域に根ざす公共メディアとしてすべての地域・すべての世代に確かな情報を届けます**  
激甚化する自然災害から県民の命と暮らしを守るため、テレビやラジオに加えてインターネットやデータ放送など、あらゆる伝送路を使ってニュースや防災・減災情報を届けます。災害の危険が迫っている場合には、避難を促すなど命を守るための情報発信を的確に行います。SNSなどデジタル発信も行い、山口県のすべての世代に寄り添う放送局として存在感を高めていきます。
- **多様なコンテンツを発信することによって地域を盛り上げます**  
それぞれの地域で育まれてきた伝統や文化、いきいきと躍動する人たちなど、地域が持つ魅力を発信します。また、抱える課題にも地域とともに向き合い、解決への道筋を探ります。サッカーリーグ「レノファ山口」や高校野球など、地域のスポーツを“厚く・熱く”伝え、県民とともに盛り上がり、感動を共有します。山口県民のニーズを踏まえ、中国地方や隣接する福岡県の情報も発信するとともに、隣接県のプロ野球「広島東洋カープ」・「福岡ソフトバンクホークス」の試合も引き続き中継で伝えます。また、県内各地で公開収録やイベントを開催し、放送・デジタル・リアルイベントの三位一体でNHKの価値を届け、県民に愛され信頼される放送局を目指します。

## 九州沖縄地方向け基本方針

- 九州・沖縄の9つの放送局は、NHKならではのネットワークを生かし、信頼できる情報や、多様な価値観への相互理解につながるコンテンツを提供することで、公共メディアの役割を果たします。それぞれの地域に合ったサービスを展開し、地域社会に貢献する放送局を目指します。
- 大雨や台風、地震や噴火などの自然災害に備え、正確な情報を迅速に放送とデジタルを連携させる形で届け、人々の命と暮らしを守ります。情報提供が必要な被災地の人々に寄り添った番組作りをするとともに、防災・減災につながる地域のさまざまな取り組みも積極的に発信します。
- 情報空間が拡大する中で地域においても信頼されるジャーナリズムを構築するために、九州・沖縄の安全保障を巡る問題や、平和な世界の構築に貢献する取り組み、地域経済の活性化につながる情報などを発信します。また、各地域における課題解決を目指すコンテンツを各地域に合った形で展開します。
- 民主主義の一翼を担う各種選挙には万全の態勢で臨み、放送やデジタルを駆使した正確・迅速、公平・公正な報道で、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。
- 野球・サッカー・バスケットボール中継のほか国民スポーツ大会や高校総体など、プロ・アマチュアを問わず九州・沖縄のそれぞれの地元で根ざしたスポーツの魅力を届けるコンテンツを通じて地域の発展に貢献します。
- 放送開始100年となる2024年度、九州・沖縄のカルチャーを発信する番組や、親子世代の学びを支援するエンターテインメント番組のほか、地域の歴史や文化・伝統や、過去の映像資産の活用など、幅広いジャンル・世代に向けて、人生を豊かにする多様なコンテンツを提供します。

## 各局の重点事項

### 福岡放送局

- **地域の関心が高いテーマを掘り下げ、課題解決や活性化につなげます**  
平日午後6時台のニュース・情報番組では、“もっと福岡を。”をキャッチコピーに、地域で関心が高いテーマを深く掘り下げます。地球“沸騰化”による地域への影響や平和の実現に向けた取り組み、人口減少による社会問題などを継続的に取材します。さらに、スポーツや地域の課題を解決に導く取り組みを通じて、視聴者に役立つ情報を提供していきます。
- **アジア情報を積極的に発信します**  
外国からの観光客数が増加している中、歴史・文化・経済面でアジアとの交流が深い地域の特性を生かし、アジアに関する情報を積極的に発信します。また、地域で暮らす外国人の暮らしぶりや思いなどを描くとともに、海外取材の機会を増やしていくことで、各国の現状や多様な文化を紹介するニュースや番組を放送します。
- **地域の特色を生かした多彩な番組で視聴者の心に寄り添います**  
福岡県域向けの放送では、県内各地のさまざまな人々の暮らしや日常に迫るドキュメンタリー番組、地元の伝統文化の継承に貢献する番組を制作します。また、2024年度後期の連続テレビ小説で福岡県が舞台となることを生かして、地域の魅力を全国に発信していきます。

### 北九州放送局

- **視聴者のニーズに応えるコンテンツを多彩に展開します**  
平日午後6時台のニュース・情報番組などを通じて、地域の情報をきめ細かく的確に発信します。エリア内の課題である人口減少や地域活性化など関心が高いテーマを掘り下げて伝えるほか、視聴者の目線に立ち、視聴者と作り上げ参加感を満たすコーナーを展開。デジタルも駆使しながら、視聴者に寄り添った多彩なコンテンツの充実に努めます。
- **エリア内の多様な魅力をあまねく丁寧に伝えます**  
多様な魅力を有する北九州・筑豊地区。近代化を支えたものづくりの街としての産業の集積、豊富な農産物を生み出す自然環境、日本を代表する修験道のひとつ、英彦山に代表される伝統や文化、アジアの玄関口としての国際的役割など、エリア内各地域の魅力をあまねく取材し丁寧に発信します。また、隣県の山口、大分とも連携し緊急報道に備えるとともに、歴史・文化・経済的なつながりを伝えます。

## 熊本放送局

- “もっとくわしく、もっと近くに” 視聴者目線の番組を届けます  
平日午後6時台は、視聴者の役に立つニュースや情報を全力発信。熊本の“いま”を深く掘り下げるとともに、熊本地震や豪雨災害からの復興、水俣病など熊本固有の課題に向き合います。出演者は積極的にスタジオを飛び出し、中継など多彩なスタイルで地域のみなさんとともに放送をつくります。また、クラブ設立20年の節目となるサッカーJリーグ「ロアッソ熊本」など、地域を元気づけるスポーツの話題や、過去の映像資産も積極的に活用して、熊本に寄り添ったコンテンツを発信します。
- 新たな視聴者層に向けた情報の発信に取り組みます  
世界的な半導体メーカーの進出に伴い増加が予想される、熊本県内の新しい視聴者層へ向けた情報発信に力を入れます。特に防災・減災情報については、風水害などに加え、巨大地震の発生に備え、台湾などから来た外国人視聴者も意識したコンテンツの発信に取り組みます。

## 長崎放送局

- もっと“長崎”に親しまれる放送局へ  
「長崎くんち」など地域の行事に連動したコンテンツ・イベントを展開し、地域に根ざした放送局として街のにぎわいづくりに貢献します。幅広い世代が楽しめるコンテンツを開発し、平日午後6時台のニュース・情報番組で継続発信することで、地域に親しんでいただける番組をお届けします。
- 2年かけて「被爆80年」を考えます  
2025年は長崎に原爆が投下されて80年の節目の年となります。しかし、世界では侵略や戦争が続いています。被爆を直接体験した世代がこの世を去る「被爆者なき時代」が現実となる中、唯一の戦争被爆国として原爆の悲惨さと平和の尊さを後世にどのように伝えていくか、硬軟さまざまな手法で「被爆80年」のコンテンツを2年がかりで展開します。

## 鹿児島放送局

- “知りたい”に応え地域に必要とされる放送局を目指します  
馬毛島や奄美大島は防衛力強化の最前線で、変容を遂げつつあります。自衛隊基地や関連施設の建設を巡る動きや島民の思い、国の狙いなどを多角的に伝え、県民の“知りたい”に応えます。また、桜島や口永良部島などの火山活動や台風・大雨に際して、生命・財産を守る情報を発信します。さらに、鹿児島県知事選挙(任期満了日・2024年7月27日)、鹿児島市長選挙(任期満了日・2024年12月22日)などで有権者の判断に資する選挙報道を行うとともに、開票速報番組では手話を付加してユニバーサル放送を実現します。

## ■ 鹿児島島の魅力を掘り起こし県内外に発信します

2024年に45回目を迎えるクラシックの祭典「霧島国際音楽祭」。若い音楽家の育成の場にもなってきた音楽祭の魅力に迫ります。また鹿児島島の“食”の魅力を掘り起こし、農林水産業の振興にも寄与します。さらに、地域の人と鹿児島放送局のディレクターと一緒に作る企画の取材エリアを拡大。地域の人が伝えたい地域の魅力を発信し、公共メディアと地域の新しい関係を築いていきます。

## 宮崎放送局

### ■ 暮らしに直結する地域課題を深く掘り下げ、地域とともに解決の糸口を探ります

出生数の減少や若者の県外流出を背景に人口減少が進む中、少子高齢化・人手不足など暮らしに直結する地域課題を深く掘り下げ、視聴者とともに解決の糸口を探ります。また、農林水産業や観光など宮崎の基幹産業の現状と課題に向き合い、多様で持続可能な地域社会の実現に向けて、地域とつながり、地域をつなぐ役割を果たします。

### ■ 伝統文化と若い世代が創造する新しい芸術文化を応援し、豊かな未来につなげます

“神話のふるさと宮崎”に伝わる「神楽」など、歴史と豊かな風土に培われた文化資源の魅力を発信し、その伝承に貢献します。また、若山牧水ゆかりの宮崎で若い世代に広がる短歌創作のほか、多様なアートやダンス、アーバンスポーツなど新しい芸術文化の創造を育むとともに、将来の夢に向かって挑戦する子どもたちや若い世代に伴走し、宮崎の豊かな未来につなげます。

## 大分放送局

### ■ 地域のニーズに応える情報を発信します

大分県では11月に「第43回全国豊かな海づくり大会」の開催が予定されています。水産業をはじめ地域で活躍する人たちの話題を積極的に取り上げ、平日午後6時台のニュース・情報番組などで伝えていきます。また、「パリオリンピック・パラリンピック」が開催される中、「大分国際車いすマラソン」など障害者スポーツの認知向上を図るとともに、クラブ創設30年を迎えるサッカーJリーグ「大分トリニータ」など視聴者の関心の高い情報を発信していきます。

### ■ 地域の魅力を掘り起こし、活性化につなげます

金曜午後7時台の地域放送番組や全国放送番組などを通じて、県内各地域の魅力を掘り起こし積極的に発信します。県内で大型観光企画が予定される中、観光の振興につながる情報を提供し、地域活性化に貢献します。2023年度に作成したオリジナルソングを活用するなど、幅広い世代に親しまれる放送局を目指します。



## 佐賀放送局

- **佐賀の課題と魅力取材し、深く広く発信します**

陸上自衛隊の輸送機オスプレイの佐賀空港への配備計画、方針が決まっていない九州新幹線西九州ルート整備計画と並行在来線が抱える課題、玄海原子力発電所を巡る動き、新発見が期待される吉野ヶ里遺跡の発掘調査など、県民が高い関心を持っているテーマに取り組みます。佐賀県の自然・歴史・文化を取材し、その特色・魅力を全国にも発信します。
- **佐賀からスポーツの魅力を伝えます**

これまでの「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」に名称が変わり、初めての大会が佐賀県で開催されます。この「国民スポーツ大会」「全国障害者スポーツ大会」を中心に、選手だけでなくスポーツに関わる地域の活動も含め、スポーツの魅力を広く伝えます。サッカーJリーグ「サガン鳥栖」、バスケットボールBリーグ「佐賀バルーンズ」、バレーボールVリーグ「久光スプリングス」などのプロスポーツ、高校野球など地域に根ざしたスポーツにも注目します。

## 沖縄放送局

- **沖縄の歴史、文化、暮らしを全国・世界へ伝えます**

「沖縄全戦没者追悼式」の中継や関連コンテンツを制作するとともに、2025年の戦後80年の節目に向けて沖縄戦を巡る実相をさまざまな方法で掘り起こし、全国・世界へ発信します。また、首里城再建の状況や琉球沖縄の伝統文化・芸能などの記録・放送にも継続的に取り組みます。
- **地域の課題を深く掘り下げ、沖縄の将来を考えます**

普天間基地の辺野古移設への動きを中心とするアメリカ軍基地問題、台湾有事も想定した日米の動き、先島諸島を巡る状況などを丁寧に伝えます。沖縄に約40ある有人離島をひとつずつ訪ね、その魅力や人口減少の中でコミュニティーをどのように守るのかといった課題に向き合う取り組みを伝えます。

## 東北地方向け基本方針

- 地域の安全・安心を支えるため、地震や東北各地で発生する大雨、大雪などの自然災害から“命と暮らし”を守る防災・減災や災害時に役立つ情報を放送やデジタルを駆使し幅広く届けるとともに課題を検証し、公共メディアの役割を果たします。発生から14年となる東日本大震災と原発事故の記憶と教訓を次の世代に伝え、人々の心のケアといった課題に向き合います。
- 人口減少や地域医療、農業や漁業の継承、震災と原発事故の被害を受けた地域の再生といった東北地方の課題を丁寧に取材します。身近な生活への影響や解決へのヒントを多彩な番組やニュース企画でタイムリーに伝え、地域の人々から信頼される放送局を目指します。選挙報道では、有権者の判断のよりどころとなる情報をすべての世代にわかりやすく、深く、公平・公正に伝えます。
- 大学生や高校生などこれからの東北を担う世代の活動を放送で取り上げ、若い世代とともに東北の未来を考えます。現役世代やファミリー層の関心に応える番組や企画を制作し、NHKプラスをはじめホームページやSNSなどのデジタルを活用し発信することで幅広い年代との接点を創出します。
- 東北の豊かな自然や文化、祭りなどさまざまな魅力を発信します。「パリオリンピック・パラリンピック」で活躍が期待される地元選手、プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグといったプロスポーツ、高校野球などのアマチュアスポーツを積極的に取り上げ、地域と一緒に応援していきます。多彩なコンテンツとともに視聴者と交流する機会を設けることで地域をつなぐハブとなり、活性化に貢献します。

## 各局の重点事項

### 仙台放送局

- 平日午後6時台のニュース・情報番組のさらなる定着を目指します  
“宮城の今がどこよりもわかる”をキャッチフレーズに、県政、産業、気象、事件・事故など地元のニュースや県民の“知りたい！”情報を、生活者目線に立った取材で丁寧に届けます。地域の食や伝統文化の豊かさを伝え、寄せられた疑問に答えるコンテンツなどの視聴者参加型の企画も展開することで地域の人々とつながりながら情報を発信します。また、放送だけではなく、デジタルコンテンツも充実させることで、現役世代にしっかりと届けます。
- 地域の魅力や課題を多彩な番組で届け、視聴者とのつながりを強化します  
著名人の東北への思いがあふれる公開生番組や、地域に入り込んだ取材で人とのつながりを体感できる番組など、視聴者とともに宮城や東北の魅力を再発見できるコンテンツを強化します。スポーツイベントや祭りと連動し地域を盛り上げ、テレビ、ラジオ、デジタルそれぞれのメディアの特性を生かし幅広い世代とのタッチポイントを増やします。人々の関心が高いテーマを深く掘り下げるとともに、震災の教訓を次世代に継承する取り組みにも力を入れ、防災や減災への意識醸成につなげます。

### 秋田放送局

- 地域の公共メディアとして県民の命と暮らしを守ります  
秋田県内では、近年記録的な大雨や大雪、猛暑による災害が相次いでいます。週末や祝日も含めた毎日午後6時台のニュース・情報番組を中心に、防災や減災に関する情報を継続的に発信するほか、災害発生のおそれがある段階から、テレビやラジオに加え、インターネットも活用して県民にとって必要な情報を伝えます。2023年7月の記録的な大雨による水害については、被災者支援の課題や今後の治水対策などを引き続き取り上げ、番組で詳しく伝えます。さらに、クマの異常出没など、地域の安全・安心を揺るがす事態には、正確・迅速な情報発信と多角的な分析で取材・放送にあたり、地域の公共メディアとして県民の命と暮らしを守る役割を果たします。
- 地域の課題に向き合い、地域の魅力を発信します  
2024年は、大潟村開村60年、「あきたこまち」誕生40年です。秋田の基幹産業である農業が抱える課題を取り上げるとともに、新たな産業として期待される洋上風力発電が県内経済に与える波及効果について考えます。加えて、人口減少が地域に与える影響や中小企業の人手不足・後継者不足、サッカーの新スタジアム建設といった地域の関心が高いテーマを深く掘り下げていきます。また、伝統の祭りや民謡、豊かな自然や食など秋田の魅力を幅広く取材し、全国に発信します。2026-27シーズンから始まるバスケットボールの新B1リーグへの参入を目指す「秋田ノーザンハピネッツ」やサッカーリーグ「ブラウブリッツ秋田」など、地域のスポーツを中継やニュース・情報番組で伝え、秋田を盛り上げていきます。

## 山形放送局

- **放送・デジタル・イベントの連携で、暮らしを守る情報を発信し、地域に貢献します**  
“やまほど、やまがた愛”のキャッチフレーズのもと、豪雨や台風、大雪などによる自然災害から命を守る情報を、放送とデジタルを駆使して、平時からきめ細かく発信します。また、最上地域で番組やイベントを集中的に展開するプロジェクトを全局体制で推進するとともに、サッカーJ1への復帰を目指す「モンテディオ山形」などのスポーツ中継も積極的にを行い、コンテンツと連動したイベントや、デジタル展開により、地域に元気を届けます。
- **“課題先進県”として地域の課題に向き合い、必要とされる放送局を目指します**  
平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の地域放送番組では、少子高齢化や過疎化、主要産業である農業を巡るさまざまな問題など全国に先駆けて進む課題に向き合い、“課題解決型”の情報を発信します。また、3年目を迎える土曜午前9時台の番組では、親しみやすさとわかりやすさを大切に、働く世代や若い世代に情報をしっかりと届けます。これら個性あふれる3つの番組を効果的に展開していくことで、地域の期待に応えます。

## 盛岡放送局

- **さまざまな媒体を通じて、若年層をはじめ幅広い世代に地域の情報を届けます**  
年々脅威を増す自然災害から命と暮らしを守るため、L字型画面やデータ放送を含むテレビ・ラジオ・インターネットなど、あらゆるメディアを活用して正確・迅速に情報を発信し、身を守る行動につなげてもらえる防災・減災報道に注力します。東日本大震災を風化させないため、岩手県内の復興の姿や課題を、全国・世界に発信していきます。若年層の接触率向上につなげる施策として、各地の子どもたちと作る「いわてみんなのうた」や、人の集まる施設でNHKの取り組みやコンテンツを知ってもらう広報拠点を運用するなど、幅広い世代の視聴者との直接的なコミュニケーションに取り組みます。
- **身近で役立つ情報やスポーツの話題を届け、今後も必要とされ続ける放送局を目指します**  
平日午後6時台の番組は地域医療、人口流出など県民の関心が高い問題を掘り下げ、地域が抱えている課題の解決策を示し、目指す岩手の姿をともに考えます。また、主婦層や女性層を中心に、生活者の目線に立って県民が知りたい生活・経済・健康の情報を届けます。県内全ての地域をそれぞれ重点的に取り上げる期間を設けることで地域に密着した情報発信をさらに強化します。大谷翔平選手をはじめ地元ゆかりのアスリートの活躍や、その周囲で選手を支える人々の思いを伝え、視聴者と一体となってスポーツを応援し地域から盛り上げます。

## 福島放送局

- **震災・原発事故の課題に向き合い、長期にわたる被災地の復興と地域振興に貢献します**

東日本大震災と原発事故からの復興の現状をはじめ今後も続く処理水の海洋放出や除染土の処分、なりわいの再建など福島の課題に向き合い、正確にわかりやすく多角的に伝えます。また地域の未来に目を向け、震災の経験や教訓を次世代へ継承する取り組みを県民とともに進めます。原発事故による風評の払拭(ふっしょく)にもつながるよう、食や自然、文化など福島県の魅力を放送とデジタルで県内をはじめ全国・世界へ発信し地域振興に貢献します。
- **県民に必要とされる情報発信を強化し、県民とともに、地域を応援する放送局を目指します**

台風や豪雨、猛暑など激甚化する自然災害に対し、県民の生命・財産に関わる情報を放送・デジタルで正確・迅速に伝え、防災・減災につながるきめ細かい地域情報の発信を強化します。また、地域を盛り上げるスポーツ・イベント・産業などを幅広く取材・発信し、県民とともに地域社会を応援します。県民の生活に直結する情報や未来を担う若い世代の新たな取り組みにも焦点をあて、幅広い世代にとって福島のきょうがわかり、あすの暮らしに役立つ放送局を目指します。

## 青森放送局

- **青森のいまをわかりやすく伝え、ともに未来を考えるきっかけを作ります**

人口減少や農林水産業を取り巻く環境の変化、生活インフラの維持など、深刻な社会課題に直面する地域だからこそ、ふるさとで豊かに生きていくための情報が求められています。“知りたい”と“信頼”に応えるために、日々のニュースに加えて子育てや医療、エネルギー施策といった、暮らしに直結する話題をデジタルも活用しながらわかりやすく伝え、地域のみなさんと青森の未来をともに考えるきっかけを作っていきます。激甚化する豪雨や台風、さらに大雪、地震をはじめとした自然災害に備え、防災意識を高める取り組みや関係先との連携に力を入れて、いざというときに頼れる存在であり続けます。
- **“使ってもらえる放送局”を深化させ、青森の魅力を発信します**

県内各地の夏祭りに戻ってきた熱狂とにぎわいに象徴されるように、コロナ禍を経たことで人のつながりの大切さが再認識されました。地域のみなさんと手を携えながら、地元愛にあふれた人々のネットワークを生かした番組や、身近な疑問や声に耳を傾ける取り組みをより充実させ、“使ってもらえる放送局”としての役割を深めます。また、豊かな自然や食材、文化、スポーツなどの魅力を県内・全国・世界に発信することで、地域の活性化に寄与します。局を飛び出して地域のみなさんとふれあう機会も積極的に設け、幅広い世代から親しまれる放送局を目指します。

## 北海道地方向け基本方針

- NHK北海道の7つの放送局は「生活者の視点」を第一に、良質で多彩なコンテンツをより多くの道民に届けます。平日午後6時台の北海道向け・道内4エリア向けのニュース・情報番組は、地域の課題や魅力を丁寧にわかりやすく伝えます。金曜午後7・8時台を軸とする地域放送番組は、幅広いジャンルの情報を道民に届け、全国発信や国際発信も目指します。NHKプラスやホームページ、イベントを通じて、公共メディアNHKの価値をより実感してもらえよう努めます。放送100年を機に映像資産も活用し、これからも地域とともに歩む放送局を目指します。
- 巨大地震・津波・風水害などに備える防災・減災の情報発信を強化し、道民の安全・安心を追求します。自然環境や社会の変化に向き合い、暮らし・経済・産業の新たな動きを伝え、今後を展望します。道内各地でヒトとの距離が狭まっているヒグマなどの野生動物との共生のあり方を道民とともに考えます。日本の“食”を支える第一次産業の課題や、“2024年問題”を含む人手不足・担い手不足の問題に多面的に迫ります。“核のごみ”問題や再生可能エネルギーを巡る動き、高騰する電気料金の行方を継続して伝えます。旅行需要の回復と“オーバーツーリズム”など観光の課題を取り上げます。選挙報道をはじめ、健全な民主主義の発展に資する情報をデジタルツールも活用しながら発信します。
- 北海道の179市町村それぞれの魅力が伝わるコンテンツを地域のみなさまとともに発信します。有形無形を問わず地域に根ざす文化を後押しし、道民の暮らしを彩ります。アイヌ文化をはじめとした伝統文化・芸能の歴史的価値を見つめ、多様性を尊重しながら未来に受け継ぐ役割を担います。プロスポーツや北海道ならではのウィンタースポーツ、若者が躍動するアマチュアスポーツを道民とともに盛り上げます。「パリオリンピック・パラリンピック」での活躍が期待される、北海道ゆかりの選手を応援します。

# 各局の重点事項

## 道央エリア

札幌放送局と室蘭放送局は、道央エリアの「生活者視点」にこだわります。防災・減災、気象、暮らしなど身近な情報をデジタルツールも活用しながら幅広く発信し、“石狩・空知・後志・胆振・日高地方”の視聴者から信頼される放送局を目指します。

## 札幌放送局

- 道央エリアや北海道全域の視聴者に多彩で信頼できる情報を届けます  
急増する都市部でのヒグマ出没、エネルギー価格や物価の高騰など、暮らしに密接した問題に向き合い、情報をきめ細かく届けます。“2024年問題”では、物流・交通の要衝である道央エリアが直面する課題に加え、地域医療・福祉の将来像なども含めて多角的に伝えます。北海道新幹線の札幌延伸工事、札幌市中心部の再開発、先端半導体企業の進出、Fビレッジ開発などの動きを入念に取材し、地域経済・社会に及ぼす影響を見つめます。

## 室蘭放送局

- 地域の安全・安心を守り、生活者の暮らしを支え潤いをもたらす情報を発信します  
巨大地震・津波や火山噴火などに備える生活者目線の防災情報を放送・デジタルの連携で多角的に発信します。先端半導体企業の進出や物流の“2024年問題”といった関心の高い出来事を深く掘り下げ、物価高や人口減少・自然環境の変化等のテーマにも向き合って暮らしの向上に貢献します。アイヌ文化の発信をはじめ国立公園化が進む日高山脈の自然や馬産地・温泉地の魅力、「パリオリンピック・パラリンピック」で期待される地元ゆかりのアスリートの活躍など、胆振・日高を元気にする情報を届けます。

## 道北・オホーツクエリア

旭川放送局と北見放送局が連携して、防災・減災や地域社会、スポーツなど道北・オホーツクエリアの暮らしを支える情報を発信します。平日午後6時台のニュース・情報番組を中心に、人口減少や自然環境の変化に直面する地域の現状を伝え、活性化を後押しする情報を届けます。放送とインターネット・イベントの連動を進めて、地域に身近な放送局を目指します。

## 旭川放送局

- 道北地方の課題に向き合い、地域の活性化と魅力の発信に貢献します  
広大な道北地方の一人ひとりの命と暮らしを守るため、大雨や暴風雪などの災害報道や防災・減災につながる情報をきめ細かく伝えます。2024年春のJR根室線富良野・新得間の廃止をはじめ、人口減少社会の中で生じている交通網の縮小・再編や労働力不足、自然環境の変化に伴う農林水産業の変

容など多様な地域課題を掘り下げ、活性化に向けた情報を発信します。また、エリア独自の番組や放送と連動したインターネット発信・イベントを通じて、道北地方の魅力を多角的に発信し、明るく元気な地域づくりに貢献します。

## 北見放送局

### ■ 地域・生活に根ざした信頼できる情報発信で、オホーツク地方を盛り上げます

防災・減災に役立つ情報をはじめ、農林水産業や公共交通機関の人手不足、自然環境の変化など、地域課題の解決に向けた取り組みや、カーリングなど地元で盛んなスポーツの情報をきめ細かく伝えます。世界自然遺産・知床に代表される豊かな自然など、多彩な魅力をインターネットなども活用して幅広く発信します。地域・生活に根ざした信頼できる情報発信で、オホーツク地方の活性化に貢献します。

## 道東エリア

平日午後6時台のニュース・情報番組を軸に釧根・十勝地方のみなさまに寄り添った放送を届けます。気候変動や世界情勢に起因する農水産・観光など基幹産業への影響、少子高齢化に伴う担い手不足や街の活性化など生活に密着した課題を深く掘り下げて多角的に発信します。また千島海溝・日本海溝沿いで想定される巨大地震・津波や大雨・暴風雪災害については日頃から減災報道を重ねることで住民の防災意識醸成に努めるとともに、発災時にはL字型画面やインターネットなどさまざまな手法で命と暮らしに関わる情報を迅速に届けます。

## 帯広放送局

### ■ 地域の課題を捉え、地域の暮らしを支え、地域の魅力を幅広く発信します

農業を中心とする十勝の産業振興策、帯広市中心部の活性化策、それに人手不足や人材流出による暮らしへの影響など地域が抱える課題を掘り下げて解決につながる放送や、十勝の暮らしを豊かにする放送を届けます。日高山脈襟裳国立公園の国立公園化など好機を捉えて十勝の魅力を重点的に取材し全国にも発信します。地域の未来を考え、幅広い年代から支持・信頼される放送局を目指します。

## 釧路放送局

### ■ 地域に誠実に向き合う視点で地域の未来につながる情報発信に力を尽くします

戦後79年となる北方領土問題の現状や元島民の思い、基幹産業の漁業や酪農、観光を巡る課題について地域に誠実に向き合う視点で取材し、全国にも発信します。中心市街地活性化やアイスホッケー、それに釧根13市町村で地域の活性化を目指す動きなど地域局ならではのフットワークを生かして、地域の役に立ち、未来につながる情報発信に力を入れます。



## 道南エリア

渡島・松山地方の18自治体に密着した情報発信を一層、充実させます。地域に徹底的にこだわり、命と暮らしを守る防災・減災報道をはじめ、政治、経済、社会のさまざまな動きや課題、そこで暮らす人たちの声を発信していきます。平日午後6時台の道南地域のニュース・情報番組を核に、デジタルツールも活用して情報を多角的に伝えます。

## 函館放送局

### ■ 地域と向き合い、地域の人たちに役立つ情報を届けます

急速に進む人口減少や特殊詐欺被害の増加、名物のイカ漁の不振といった地域の課題と正面から向き合い、平和で豊かに暮らせる地域社会の実現に向けた解決策を探ります。千島海溝・日本海溝沿いで想定される巨大地震や津波、火山の噴火、多発する大雨や大雪などへの備えについて、地域の命綱となる信頼できる情報を発信します。世界から競技者が集まる「モルック世界大会」などのイベントや豊かな自然、伝統文化といった道南地域の魅力を全国に発信し、地域活性化に貢献します。

## 四国地方向け基本方針

- 南海トラフ巨大地震をはじめ、近年その被害が甚大化している豪雨などの自然災害のリスクに備え、人々の命と暮らしを守る情報の発信拠点として、自治体や地元メディア、地域のコミュニティーとも協力して視聴者の防災意識を高めることに貢献します。災害発生時には、西日本の各放送局と連携して緊急報道にあたるとともに、放送、デジタルそれぞれの特性を生かした正確できめ細かな情報発信を通して、迅速な避難行動につなげていきます。
- 少子高齢化、過疎化など“課題先進地域”といわれる四国の現状に正面から向き合います。視聴者からの情報、データの分析・調査などを通じて、暮らしに必要な情報や課題解決へのヒントを多角的に取材し、わかりやすく伝えます。放送だけでなく、NHKプラスによる番組の配信やデジタルでの情報発信により一層力を入れ、幅広い世代に地域の情報・コンテンツを届けます。
- 四国が誇る豊かな自然や歴史・文化・観光資源などの多彩な魅力を国内外に発信し、観光振興や地域の産業発展に貢献します。感染拡大前の活気を取り戻しつつある祭りやイベントでにぎわう地域の姿を伝えます。また、四国ゆかりの人物をモデルにした「連続テレビ小説」の放送が続くことを生かし、ドラマの舞台となる地域の情報発信を通じて、地域活性化につながるコンテンツを展開します。
- 四国を舞台にあらゆる分野で活躍する人々や日々を懸命に生きる各地の人々を積極的に取り上げて応援します。スポーツでは、「パリオリンピック・パラリンピック」に出場する四国出身選手をはじめ、Jリーグなどの地元チームや将来が期待される若いアスリートなどの活躍を取材して広く発信していきます。

## 各局の重点事項

### 松山放送局

- **防災・減災に資する情報の発信拠点として、命と暮らしを守る報道に全力を尽くします**

県民の安全・安心を支えるため、南海トラフ巨大地震や豪雨・台風などの自然災害に備え、防災・減災につながる情報を発信し続けます。西日本豪雨による甚大な被害の記憶を風化させないよう、復興の取り組みを継続的に取材、発信するほか、自治体や地元メディア、ケーブルテレビ、学校など地域のコミュニティとの連携を一層強化し、県民の防災意識の啓発と向上に貢献します。発災時には、正確・迅速な緊急報道に全力で取り組み、テレビ・ラジオ・デジタルなどのあらゆる手段で発信します。また、伊方原子力発電所の安全対策についても引き続き注視して伝えていきます。
- **地域の課題に真摯(しんし)に向き合い、放送とデジタルで幅広い視聴者に情報を届けます**

ニュース・情報番組では、地域が直面する物価高や人手不足、少子高齢化などの課題に積極的に向き合うとともに、データの分析や調査を通して問題点やその背景を掘り下げることで、解決につながるヒントを探り、視聴者の期待に応えます。放送とともに、NHKプラスによる番組の配信やSNSでの情報発信にも、引き続き重点を置くとともに、WEBニュース特集「愛媛インサイト」で、地域のニュースや情報をより深く、広く発信します。
- **愛媛の多彩な魅力を発信、地域のスポーツを応援します**

道後温泉や松山が誇る俳句文化、かんきつ類や魚などの食、四国山地、瀬戸内海の豊かな自然といった愛媛ならではの魅力を全国・世界に発信します。また、放送100年を前にNHKが保有する貴重なアーカイブスに付加価値をつけ、地域の魅力を掘り起こします。「パリオリンピック・パラリンピック」に向けて活躍が期待される選手をはじめ、サッカーJ2復帰を果たした「愛媛FC」やJ2昇格を目指す「FC今治」、バスケットボールB2リーグで奮闘する「愛媛オレンジバイキングス」など地元スポーツチームの情報を引き続き発信し、県民とともに愛媛のアスリートを応援します。

### 高知放送局

- **高知で暮らす人たちの命を守る情報発信を強化します**

高知県にとって極めて重要なテーマは南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害への対応です。発災時には災害の状況や避難情報などを放送やSNSなどを通じていち早くお伝えします。もし大災害が起きた際に命を守る情報や状況を伝える映像を一段と早く発信できるよう、高知市中心部に新たなサテライトスタジオを建設する準備を進めるとともに、完成までの間は前年度に整備した仮の拠点から情報や映像を送ります。また自然災害に備えるため、防災・減災に役立つ情報をテレビやインターネットで発信し続けるとともに、地域ならではの課題を掘り下げて伝えて視聴者に考えていただく番組を展開していきます。
- **「らんまん」から「あんぱん」へ～高知の魅力をもっと広く、もっと深く伝えます～**

2025年度前期の連続テレビ小説「あんぱん」は高知出身の漫画家やなせたかしさん夫妻がモデルです。2023年度前期の「らんまん」では全国から高知の文化・歴史・自然などへの関心が高まり、高知への観光客が増える結果になりました。この流れを継続し、さらに大きくするため、「あんぱん」の放

送に先立ってドラマに関連する情報をひとつひとつ丁寧に届けるとともに、自治体、地域のメディアなどと連携して盛り上げていきます。あわせて高知の源である「水」をテーマにキャンペーンを展開し、風景や食、人々の暮らしといった高知の魅力を広く発信します。地域のさらなる活性化につなげ、高知に根ざした公共メディアの役割をしっかりと果たします。

## 徳島放送局

- **徳島県の一人ひとりの命と暮らしを守るため、防災・減災報道に地元と一体となって取り組みます**  
徳島県は、四国4県の中でも南海トラフ巨大地震と津波による甚大な被害が想定されています。日頃から徳島県のみなさまに防災意識を高めていただける情報展開に力を注ぎます。また、各自治体や郵便局、地元メディアとの連携を強化して、大雨や台風などの災害が起きた時、迅速に命を守るための情報や被害情報を的確に提供できる取材・展開体制を整備し、デジタル化による情報空間が拡大する中、徳島県のみなさまに信頼される情報をテレビ・ラジオ・インターネットそれぞれの特性を生かして、一人ひとりの命と暮らしを守る備えと対応に直結する情報をきめ細かくお伝えします。
- **“徳島のいま”に向き合い、良質なコンテンツを展開します**  
2025年に放送開始100年を迎えるメディアとして、徳島県の文化や伝統、課題となっている少子高齢化、過疎などに向き合うほか、サッカーJリーグやバスケットボールBリーグといった地域のスポーツを取り上げるなど、“徳島のいま”を切り取って、良質なコンテンツを展開し、地域の活性化に貢献するとともに、コンテンツ資産として記録していきます。そのうえで2033年に迎える徳島放送局開局100年の際、改めて時代の変遷を感じられるコンテンツの展開を目指し、徳島県のみなさまにとって「信頼できる情報の担い手」としての役割を果たしていきます。

## 高松放送局

- **防災・減災報道をさらに充実させ地域の安全・安心を守ります**  
南海トラフ巨大地震や台風・大雨・高潮などの災害から命と暮らしを守る情報発信をさらに充実させます。地域のコミュニティーや地元の専門家などとの連携を深めて、防災における香川の課題を深く掘り下げ、解決策を探るニュース・番組の展開に力を入れます。巨大地震の発災時などに使用する松縄サテライトスタジオを積極的に活用し、放送サービス継続の体制を強化します。災害が発生した場合には、放送・インターネットなどあらゆる手段を使って、多くの人たちに正確・迅速に情報を届けます。被災者のみなさまには、必要とするライフラインの情報をきめ細かく伝えます。
- **開局80年 地域のみなさんの共感を呼ぶ地域に貢献するコンテンツを届けます**  
2024年5月、高松放送局は開局80年を迎えます。地域のみなさんの共感を呼ぶ、地域密着のコンテンツを充実させます。アーカイブ映像を活用し、香川の暮らしや文化の歴史を振り返り、未来の姿を考えます。香川で暮らす人たちの思いや物語を発掘し、地域の良さや魅力を再発見するとともに人口減少や高齢化などの課題に真摯(しんし)に向き合います。放送とデジタル、イベントの連動により視聴者との接点を増やし、高松放送局を支えていただいたみなさまに感謝を伝えるとともに、地域を応援する放送局としての存在感を高めます。